

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121122
事務事業名	美麻支所一般管理経費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
美麻支所庁舎等の保守管理と一般事務費。

- 事業の目的**
- 施設の定期的な保守管理により安全な施設環境を保つ。
 - 一般事務費の管理を行い、事務費の削減に努める。

事業内容
庁舎の保守管理のため、電気、消防設備、浄化槽、自動ドアなどの法定点検を業者に委託し、安全な設備管理を行うとともに、故障設備等の早期発見に努めている。また警備保障業務を委託し、防犯管理に努めている。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	10,816 千円	10,325 千円	11,163 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	10,816 千円	10,325 千円	11,163 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
支所の管理、保守、修繕のための経常経費であるため。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複あり	普通	適正である
点数	3	2	2	1	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	経費節減を図りながら、美麻支所等の適正管理に努めている。				
	評価点合計	13 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121123
事務事業名	美麻支所車両管理経費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成		年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	美麻支所所管の車両管理
事業の目的	公用車の定期点検等の実施により安全な運行管理を行う。
事業内容	美麻支所管理の公用車の共済保険料と車検整備及び定期点検整備 公用車のタイヤ交換

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	243 千円	822 千円	851 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	243 千円	822 千円	851 千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 支所公用車	12	12	12	12	100.0%	12
	②						
	③						

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

車両の経年劣化に伴う修繕により事業費に変動がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	経費節減を図りながら、美麻支所所管車両の適正管理に努めている。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121125
事務事業名	美麻地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	地域の一体感の早期確立、移り住む人をやさしく受け入れるまち ほか						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画	大田市過疎地域自立促進計画			16~18 頁
事業期間	平成 28 年	～	平成 32 年	根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進特別措置法			

事業の概要
 附属機関である美麻地域づくり委員会の運営。大田市過疎地域自立促進計画に基づく過疎地域自立促進特別事業の実施

事業の目的
 持続可能な地域社会の形成、個性豊かで魅力あふれる地域社会の実現

事業内容
 地域づくり委員会を運営し、地域住民の声を市政に反映している。過疎地域における振興策として、定住促進奨励金（空き家有効活用）、住宅新築資金等利子補給金、就職促進奨励金、起業支援事業補助金、起業育成支援事業補助金の支出などを行っている。また、地域づくり分野の住民活動団体で構成する美麻地域づくり会議に補助金を交付することにより、地域づくり活動を支援している。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	9,565 千円	18,819 千円	5,203 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	9,565 千円	18,819 千円	5,203 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	住宅新築等利子補給	世帯	1	2	2	2	100.0%	2
②	就職支援	人	1	1	1	1	100.0%	1
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	定住人口の増加	人	5	10	3	5	60.0%	5
	②	産業の創出	事業	1	2	0	1	0.0%	1
	③	交流人口	人	1,800	600	950	600	158.3%	600

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）美麻地域づくり会議を支援することにより、地域づくり活動が継続されている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 市民の一体感の醸成と美麻地域の自立の促進を同時に図っていく必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	3	3	3	2	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域づくり委員会については、今後も適正な運営を図っていく。 地域づくり会議への補助金交付方針については、過疎計画を所管する企画財政課と調整を図っていくが、自立促進につながる効果的な事業の選択と適正な運営を促していく。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	総務	係	事務事業No.	121126
事務事業名	メンドシーノ交流事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画	大田市過疎地域自立促進計画			17 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 過疎地域自立促進特別措置法	

事業の概要
 芸術家同士の交流をきっかけに、昭和55年（1980年）旧美麻村とアメリカメンドシーノとの間で国際姉妹都市を締結し、平成4年（1992年）以降小学生を中心とした訪問団の相互派遣事業を隔年で実施。合併後は大田市が姉妹都市を継承。

事業の目的
 将来を担う若者に国際交流を体験させることにより、国際感覚を身に付け、積極性を養う機会とすることが期待されている。また、子どもから高齢者まで多くの市民が参画し、市民レベルの国際交流を推進することで、地域活性化に寄与する。

事業内容
 訪問団の受入れ（奇数年度）と派遣（偶数年度）を実施。実行委員会組織で企画・運営されているが、ボランティアグループが交流事業に積極的に関わり、訪問時の児童の事前勉強会の開催、受入れ時のホストファミリーの調整を担っている。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	総事業費（決算額）	3,527 千円	700 千円	4,063 千円
	財源内訳			
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,527 千円	700 千円	4,063 千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
活動指標	① 受入人数	人	—	18	—	—	28
	② 派遣人数	人	30	—	32	106.7%	—
	③						

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 交流事業参加者	人	—	450	—	—	—	450
② ホストファミリー	件	—	9	—	—	—	12
③							

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）事業に参加した児童の国際ボランティア活動が広がりを見せている。また、自治体国際化協会の姉妹自治体優良事例に選定されるなど、実績も認められてきている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 随行ボランティアやホストファミリーの広域化が進み、協力者が増加してきてはいるものの、美麻地区内においては、少子化に伴いPTA等子供を有する協力者の減少が課題となりつつある。また、交流の主体となる小学校児童の減少傾向が進むことも予測されており課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である	
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	交流事業の全市的な拡大や、新たな交流（10周年を迎えた芸術家交流の拡大等）への発展、他のまちづくり事業との連携などを旨とする。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121127
事務事業名	ほかほかランド美麻管理運営費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	5	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	ほかほかランド美麻・ほかほかランド美遊の管理・運営。								
事業の目的	地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的としてほかほかランド美麻とほかほかランド美遊を管理・運営する。								
事業内容	施設の維持管理（指定管理） ・光熱水費（EV電気料142千円） ・修繕費（屋根改修工事10,789千円・看板修繕ほか5,575千円） ・手数料（建築完了検査手数料ほか280千円） ・委託料（ほか指定管理料7,684千円・建設工事監理業務3,365千円） ・使用料及び賃借料（美遊賃借料417千円） ・工事請負費（入浴施設等建築工事ほか201,699千円） ・補償補填及び賠償金（従業員給与補填691千円）								
事業費	年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度			
	総事業費（決算額）	15,069 千円		34,358 千円		230,642 千円			
	財源内訳	国庫支出金			千円		千円		
		県支出金			千円		千円		
		起債			13,200 千円		178,200 千円		
		その他財源			千円		30,000 千円		
一般財源		15,069 千円		21,158 千円		22,442 千円			
活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	施設・設備維持管理	箇所	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	利用者数	人	65,769	10,464	61,021	66,000	92.5%	95,000
	②								
2. 数値で表せない効果		神城断層地震により被災したが、新たに入浴施設を建設し、8月6日には指定管理者、地域住民と共に道の駅復興イベントを開催し、地区住民の拠り所であるほかほかランド全館営業の再開ができた。							
※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等 8月から全館営業を開始したが震災による客離れがあるため、利用者等への地震による風評等を払拭するなど、正確な情報提供を行い集客へつなげたい。									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	ほかほかランド美麻及び、ほかほかランド美遊について、指定管理者制度による管理・運営が行われている。地域と連携した積極的自主事業等の実施により、集客はもちろん、地域活性化のひとつの拠点となるべく取り組む。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	1211212
事務事業名	美麻定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 33 年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
定住促進住宅の整備。

事業の目的
住宅の整備により定住を促進し、人口増をはかる。

事業内容
平成25年度 桜台団地 住宅3棟建設 湯の海団地2棟リフォーム
平成27年度 新行地区 3棟用地買収
平成28年度 新行地区 建築設計
平成29年度 新行地区 造成工事、建築工事

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	183 千円	4,910 千円	— 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	183 千円	4,910 千円	千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅建設	棟	—	—	—	—	—	3
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅入居者	人	17	17	17	17	100.0%	23
②								
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
新たな定住促進住宅用地の選定あたり、土砂災害警戒区域等の規制があるため用地選定に苦慮している。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	3	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計	平成29年度 新行地区 3棟造成・建設予定。				
	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	1211214
事務事業名	線越明許費ほかほかランド美麻管理運営費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	2	項 1 目 12
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	5	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 ほかほかランド美麻入浴施設建費等

事業の目的
 神城断層地震により被災した入浴棟の整備と老朽化した空調設備等の改修、更新

事業内容
 施設の維持管理（指定管理）
 ・修繕費（空調設備改修工事39,755千円）
 ・委託料（建設工事監理業務2,899千円）
 ・工事請負費（入浴施設等建築工事ほか116,000千円）
 ・備品購入費（券売機1,620千円）

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）		千円	11,988 千円
	国庫支出金		千円	千円	千円
	県支出金		千円	千円	千円
	起債		千円	千円	千円
	その他財源		千円	千円	千円
	一般財源		千円	11,988 千円	160,274 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	施設・設備維持管理	箇所		1	1	1	100.0%	—
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①								
②								
③								
2. 数値で表せない効果 神城断層地震により被災したが、新たに入浴施設を建設し、8月6日には指定管理者、地域住民と共に道の駅復興イベントを開催し地区住民の拠り所である、ほかほかランド全館営業の再開ができた。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 8月から全館営業を開始したが震災による客離れがあるため、利用者等への地震による風評等を払拭するなど、正確な情報提供を行い集客へとつなげたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	事業完了	平成26年11月22日に発生した神城断層地震により入浴施設の配管が壊れ、浴槽にヒビが入るなど多大な被害を受けたため、12月～翌27年4月までを休館とした。27年5月～11月まではレストラン及び売店のみの営業を再開したが、冬期間は集客も望めないため12月～翌28年4月までを再度休館とした。その後、5月～7月までレストラン等一部営業を再開し、入浴施設改修工事が完了したことから8月6日に全館営業を開始した。入浴棟の再建に併せて、老朽化していた空調設備、受電設備の改修も実施した。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16123
事務事業名	美麻地籍調査事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち				款	6	項 1 目 2
施策目標	均衡ある発展をめざした土地利用の推進						
後期計画掲載頁	86	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 15 年	～	平成 35 年	根拠法令・要綱等 国土調査法			

事業の概要
一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査。

事業の目的
課税の適正化、公共事業の計画策定及び実施の円滑化等を目的として実施する。

事業内容
一筆ごとの土地について関係者の立会いのもと地番、地目、境界の確認を行い、境界に杭を打って測量を行い、地籍簿案と地籍図原図を作成し、所有者の確認を受けたのちに、その成果について国からの認証を受けるための手続きを行う。

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費（決算額）	4,286 千円	1,897 千円	1,826 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	2,235 千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,051 千円	1,897 千円	1,826 千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	新行1区	ha	—	—	—	—	—	
	②	新行2区	ha	10	—	—	—	—	
	③	認証請求	箇所	—	—	0	1	0.0%	1

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	新行1区	筆	—	—	—	—	—	
	②	新行2区	筆	360	—	—	—	—	
	③	認証請求	筆	—	—	0	838	0.0%	838

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
測量業務等の専門的知識がいるため認証請求事務等が課題である。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	2	3	3	2	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	美麻地区内の宅地及び農地を主として調査を行っている。あらゆる生産の基本的要素である土地の所有、利用関係を明らかにして地籍の明確化を図り、課税の適正化を目的としており必要性、有効性は高いと考える。また、市の財産である法定外公共物（赤線、青線）の明確化にも寄与する。今後は、未調査地区について計画的な調査を行うとともに調査済地区についての速やかな登記完了を最重点事項として事業を進める。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	161319
事務事業名	美麻農産物加工所管理事業					会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	6	項 1 目 3
施策目標	農地集約化と特色ある農業への転換						
後期計画掲載頁	59	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	4	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
美麻農産物加工所の施設、設備等の経年劣化に伴う修繕、交換等を行う。

事業の目的
美麻農産物加工所の施設、設備の適正な管理。

事業内容
施設の維持管理。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	196千円	80千円	—千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	196千円	80千円	千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	美麻農産物加工所	1	1	1	1	100.0%	—
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—
2. 数値で表せない効果							
(指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
普通財産としたことによる維持管理経費が課題。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	2	2	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	事業完了	美麻農産物加工所の譲渡について指定管理者と検討中であったが、28年3月24日付で指定管理者から指定管理取消申出書が提出され、3月31日付で大町市公の施設の指定管理者の指定を取消し営業を停止した。おやぎ生産に特化した施設であることから同様の事業を行っている団体に運営について打診したが合意に至らなかった。農産物加工所としての利用が見込めない事から用途を廃止し、普通財産としての有効利用を図るべく検討している。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16152
事務事業名	ふたえ市民農園管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	6	項 1 目 5
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	9	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 農家の高齢化や後継者不足により増加傾向にあった耕作放棄地、遊休荒廃農地の解消を図るため、平成9年にふたえ市民農園を開設した。
 全体面積4.5ha 管理棟1棟（木造2階一部鉄骨615㎡）・休憩施設付農園49棟（木造平屋一部ロフト約50㎡）
 1区画当たり年間390,000円 共益費年間12,000円（光熱水費別）

事業の目的
 ①地域資源を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。
 ②遊休荒廃農地の利用。

事業内容
 一部の業務（利用者の受付、日常清掃、農作業技術指導）を北アルプス広域シルバー人材センターに委託し、ふたえ市民農園（管理棟1棟・休憩施設49棟）の管理を実施している。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	総事業費（決算額）	21,920 千円	23,784 千円	20,385 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源	20,459 千円	18,336 千円	17,483 千円
	一般財源	1,461 千円	5,448 千円	2,902 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	契約休憩施設数	棟	47	43	37	39	94.9%	42
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	休憩施設契約率	%	96	93	80	85	94.6%	90
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 定住促進係と連携し、お試し暮らし体験用としてラウベ3棟を利用している。
 平成26年11月22日に発生した長野県神城断層地震被災者の避難用としてラウベ2棟を利用している。
 空きラウベ7棟の解消が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	ふたえ市民農園は開設から20年目となり、施設の老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を実施したい。 空きラウベを解消するため、市ホームページの充実、(株)トーエルの顧客あてチラシ（夏号）8万部に掲載するほか、観光協会を通じて都市圏でパンフレットを配布し利用者募集を行う。 また、業務を委託しているシルバー人材センターが地域住民の高齢化により、作業できる人員が減少しているため、指定管理も含めた施設の管理方法について検討していく。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16153
事務事業名	おおしお市民農園管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	6	項 1 目 5
施策目標	地域間交流の促進						
後期計画掲載頁	47	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	14	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 農家の高齢化や後継者不足により増加傾向にあった耕作放棄地、遊休荒廃農地の解消を図るため、平成14年に「おおしお市民農園」を開設した。
 全体面積 1.7ha 管理棟1棟（木造平屋建205㎡）・休憩施設付農園36棟（木造平屋建50㎡/1棟）
 1区画当たり年間390,000円 共益費年間12,000円（光熱水費別）

事業の目的
 都市住民等に「農業・土・自然」と親しむ場を提供し、都市と農村の住民交流を図ることにより、地域の振興と活性化に寄与する。

事業内容
 一部の業務（利用者の受付、日常清掃、農作業技術指導）を北アルプス広域シルバー人材センターに委託し、ふたえ市民農園（管理棟1棟・休憩施設36棟）の管理を実施している。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,558 千円	6,640 千円	6,391 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源	13,212 千円	11,539 千円	12,237 千円
	一般財源	-7,654 千円	-4,899 千円	-5,846 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	契約休憩施設数	棟	33	33	31	31	100.0%	31
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	休憩施設契約率	%	92	94	89	89	100.0%	89
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 平成24年度から定住促進係と連携し、休憩施設1棟を「お試し暮らし体験用」として利用している。
 空きラウベ4棟の解消が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	おおしお市民農園は、開設から15年目となり各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施したい。また、業務を委託しているシルバー人材センターが地域住民の高齢化により、作業できる人員が減少しているため、指定管理も含めた施設の管理方法について検討していく。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	16319
事務事業名	美麻市有林管理育成事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	6	項 3 目 1
施策目標	地域の特性を生かした林業・水産業の振興						
後期計画掲載頁	60	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	19	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	市有林の管理・育成。
事業の目的	市有林箇所の草刈りや冬囲いをすることにより市有林の管理育成を行う。
事業内容	市有林について、毎年委託業務により草刈り冬囲い等、管理を行っている。

事業費	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	総事業費(決算額)	220千円	225千円	191千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		220千円	225千円	191千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	植樹祭跡地	m ²	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0%	5,000
	②	川手	m ²	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%	3,000

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果								
(指標①)大北植樹祭跡地の管理及び川手地区斜面のツツジ植栽地の管理、環境整備を実施し、良好な環境を維持できている。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

震災影響による川手地区住民の減少により、今後、川手地区ツツジ植栽地管理が課題である。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	市有林の管理をシルバー人材センター、川手地区に委託し地元住民により適正に管理されている。現状継続が望ましい。					
	評価点合計						

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171311
事務事業名	美麻観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	2	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要	静の桜公園、二重沢公園、青貝公園、麻の館の管理・運営
事業の目的	各種観光施設の管理・運営
事業内容	施設の維持管理（委託・指定管理等）

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,691 千円	1,632 千円	1,366 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	5,691 千円	1,632 千円	1,366 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	観光施設管理	箇所	3	3	3	3	100.0%	3
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標①）市民の憩いの場である公園等の管理、環境整備を実施し、良好な公園環境に努めている。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

静の桜公園、二重沢公園、青貝公園等の経年劣化による修繕が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	2	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	公園の管理（静の桜公園・二重沢公園・青貝農村公園）は、シルバー人材センターに委託しており、地元住民で管理を行っている。公園管理については、現状継続が望ましい。なお、麻の館については28年度末に民間に譲渡した。				
	評価点合計	14	/ 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	事務事業No.	18514
事務事業名	美麻住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 25 年	～	平成	年	根拠法令・要綱等		

事業の概要
定住促進住宅の維持管理。

事業の目的
定住促進ビジョンに合わせた「子育て世代」や「若者世代」をメインターゲットに過疎地域への定住促進と地域の活性化を図る。

事業内容
旭団地（平成12年度建設 低層耐火構造 8戸）
桜台団地（平成25年度建設 木造二階建 3戸）
川手住宅（昭和51年度建設 木造二階建 1戸）
湯の海団地（昭和51年度建設 平成25年度リフォーム 木造平屋建 2戸）
計14戸の維持管理を実施

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	9,453 千円	1,023 千円	2,910 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	3,869 千円	3,606 千円	3,681 千円
	一般財源	5,584 千円	-2,583 千円	-771 千円

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
活動指標	① 定住促進住宅	棟	12	14	14	14	100.0%	17
	②							
	③							

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
成果指標	① 定住促進住宅契約	%	100	100	100	100	100.0%	100
	②							
	③							
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

経年劣化による修繕が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である	
点数	3	2	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	建築年度の古い建物については各所に不具合が生じているため計画的に修繕を実施していく。				
	評価点合計	16	/ 18				